

令和4年度 第1回 高等学校入学者選抜審議会

日時 令和4年7月27日(水) 10:00～

場所 行政庁舎9階 第一会議室

次 第

1 開 会

2 報 告

- (1) 令和4年度宮城県公立高等学校入学者選抜結果について
- (2) 令和5年度宮城県公立高等学校入学者選抜について

3 諮 問

- (1) 令和6年度宮城県立高等学校入学者選抜方針について
- (2) 令和6年度宮城県立高等学校入学者選抜日程について

4 審 議

- (1) 令和6年度宮城県立高等学校入学者選抜方針について
- (2) 令和6年度宮城県立高等学校入学者選抜日程について
- (3) 宮城県公立高等学校入学者選抜に関する質問紙調査及び専門委員について

5 その他

6 閉 会

【 資 料 】

- 資料1 諮問・審議関係資料
- 資料2 報告関係資料
- 別冊
 - ・ 令和4年度宮城県公立高等学校入学者選抜学力検査の分析結果
 - ・ 令和5年度宮城県公立高等学校入学者選抜求める生徒像・選抜方法一覧

高等学校入学者選抜審議会条例

(昭和28年3月28日条例第40号)

最終改正 平成24年12月条例第71号

第1条 教育委員会の諮問に応じ、高等学校の通学区域の検討、入学者の選抜の方法及びその実施並びに学力検査問題の作成について調査審議するため、高等学校入学者選抜審議会（以下「審議会」という。）を置く。

第2条 審議会は、30人以内の委員で組織する。

2 審議会に、専門の事項を調査研究させるため、専門委員を置く。

第3条 委員及び専門委員は、学校の教職員、総合教育センターの職員、教育庁の職員及び学識経験者のうちから教育委員会が任命又は委嘱する。

第4条 委員の任期は二年とする。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 教育委員会が必要と認めるときは、前項の規定にかかわらず、任期中においても当該委員を解職することができる。

3 専門委員は、当該専門の事項に関する調査研究が終了したときは、退任するものとする。

第5条 審議会に、委員長及び副委員長各一人を置き、委員の互選によって定める。

2 委員長は、会務を掌理する。

3 副委員長は、委員長に事故あるとき、その職務を代行する。

第6条 審議会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。

第7条 この条例に定めるものを除く外、審議会の議事の手続その他審議会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議にはかつて定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和47年10月11日条例第27号抄）

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成24年12月20日条例第71号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

第1回高等学校入学者選抜審議会 名簿

(審議会委員)

No.	氏名	現職	備考
1	田端 健人	宮城教育大学教職大学院 教授	
2	熊谷 龍一	東北大学大学院教育学研究科 准教授	
3	坪田 益美	東北学院大学教養学部 准教授	
4	川嶋 輝彦	仙台経済同友会 常任幹事・事務局長	
5	高橋 真木子	宮城県高等学校PTA連合会 理事	
6	浅野 直美	宮城県PTA連合会 副会長	
7	志小田 美弘	東松島市教育委員会 教育長	
8	高橋 和之	仙台市教育局学校教育課 課長	
9	伊藤 宣子	聖ウルスラ学院英智高等学校 校長	
10	高橋 千春	栗原市立築館中学校 校長	
11	本木 一昭	仙台市立長町中学校 校長	
12	新井 雅行	宮城教育大学附属中学校 校長	
13	佐々木 克敬	仙台第三高等学校 校長	
14	勅使瓦 理恵	村田高等学校 校長	
15	徳能 順子	泉松陵高等学校 校長	
16	菅井 理恵	総合教育センター 所長	

(教育庁)

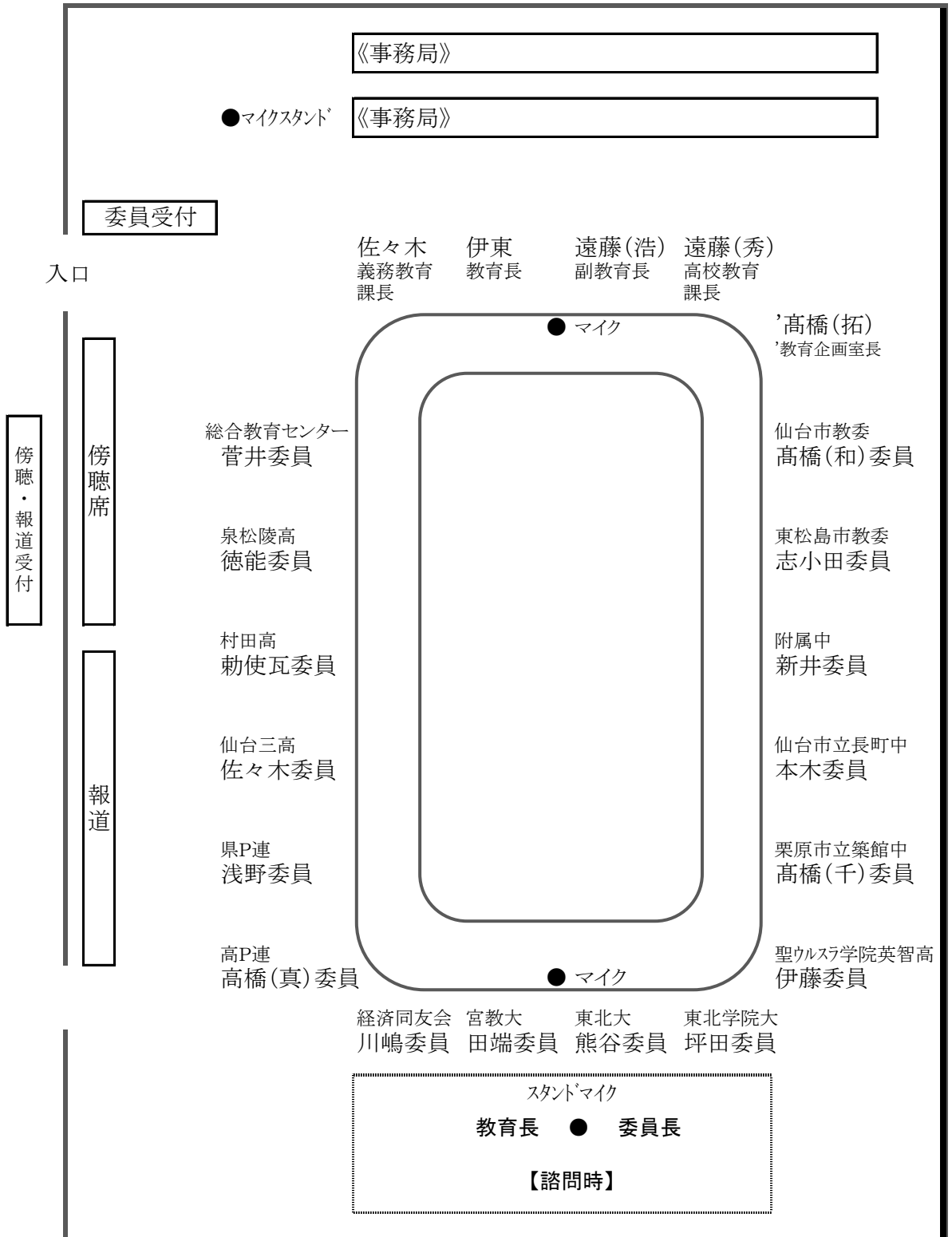
教育委員会	教育長	伊東 昭代
	副教育長	嘉藤 俊雄
	副教育長	遠藤 浩
教育企画室	室長	高橋 拓弥
	教育改革班主幹兼企画員	柴 大輔
教職員課	県立学校人事班課長補佐	佐藤 智子
義務教育課	課長	佐々木利佳子
	指導班副参事	早川 知宏
高校教育課	課長	遠藤 秀樹
	総括課長補佐	後藤 康弘
	副参事兼総括課長補佐	佐藤 和寛
	教育指導第一班課長補佐	櫻井 知大
	〃 主幹	上園 知明
	〃 主幹	菊地 芳浩
	〃 主幹	鎌田 幹子
	〃 主幹	菊地 賢一
	〃 主任主査	岡田 康佑
	教育指導第二班課長補佐	早川 健次
	〃 主幹	赤間 裕樹
	〃 主幹	清原 和
	〃 主査	幸田 雄介

(仙台市教育局)

学校教育課	高校教育課 課長	春日川 孝
	〃 指導主事	末永 光洋

令和4年度 第1回高等学校入学者選抜審議会 座席図

行政庁舎9階 第一会議室



報告 関係資料

報告

(1) 令和4年度宮城県公立高等学校入学者選抜結果について

① 総括	1
② 学科別出願者数・合格者数等	2
③ 地区別出願者数・合格者数等（全日制課程）	2
④ 学科別出願倍率	3
⑤ 地区別出願倍率（全日制課程）	3
⑥ 出願状況から見た全県一学区に伴う地区外受験状況について	3
⑦ 令和4年度公立高等学校入学者選抜学力検査の分析結果について	4

(2) 令和5年度宮城県公立高等学校入学者選抜について

① 募集定員	5
② 日程等	5

(3) 宮城県公立高等学校入学者選抜に係る質問紙調査について

① 実施要項等	6
② 質問紙調査用紙（中学校・高等学校・生徒・保護者）	8
③ 集計結果（速報版）	18

令和4年度宮城県公立高等学校入学者選抜の結果について

① 総括

(単位:人)

		全日制課程		定時制課程	
		令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
中学校卒業予定者数 ※1		19,765	19,235	—	—
募集定員 (a)		13,880	14,200	960	1,000
第一次募集	出願者数	14,005	13,687	325 (3)	361 (1)
	出願倍率 (倍)	1.01	0.96	0.34	0.36
	欠席者数	177	185	8	7
	受験者数	13,828	13,502	317 (3)	354 (1)
	受験倍率 (倍)	1.00	0.95	0.33	0.35
	合格者数 (b)	12,016	12,187	298 (3)	340 (1)
併設型中学校から併設型高等学校への入学※2		(202)	(198)	↑	↑
連携型選抜 ※3	募集人数	(72)	(72)	(注) ()内数字は、社会人特別選抜合格者数で内数	
	出願者数	(45)	(42)		
	合格者数	(45)	(41)		
第二次募集	募集人数	1,880	2,018	663	660
	出願者数	134	61	34	33
	受験者数	133	61	32	32
	合格者数 (c)	122	56	28	25
全合格者数 (d) = (b) + (c)		12,138	12,243	326	365
充足率 (%) (d) ÷ (a) * 100		87.4%	86.2%	34.0%	36.5%

※1 中学校卒業予定者数は、令和4年度は令和3年5月1日現在、令和3年度は令和2年5月1日現在の数字である。

※2 ※3 併設型中学校から併設型高等学校への入学及び連携型選抜の数値は、第一次募集の出願者数・受験者数・合格者数の内数である。

(単位:人)

		通信制課程(一期)		通信制課程(二期)	
		令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
入学者選抜	募集定員	450	450	50	50
	募集人数	450	450	244	282
	出願者数	173	146	9月受付	7
	受験者数	171	145	9月実施	7
	合格者数	171	145	9月実施	7

② 学科別出願者数・合格者数等

イ 全日制課程

(単位:人,%)

	学 科	募集定員	第一次募集			中高一貫教育 進学者数	第二次募集 合格者数	全合格者数
			出願者数	合格者数	合格率			
1	普通	8,800	9,617	8,110	84.3	240	53	8,163
2	農業	720	607	541	89.1	—	12	553
3	工業	1,480	1,433	1,319	92.0	—	12	1,331
4	商業	1,120	883	781	88.4	7	24	805
5	水産	240	117	114	97.4	—	4	118
6	体育	120	111	108	97.3	—	3	111
7	英語	80	87	80	92.0	—	—	80
8	家庭	120	98	82	83.7	—	2	84
9	看護	40	58	40	69.0	—	—	40
10	理数	120	188	120	63.8	—	—	120
11	美術	40	47	40	85.1	—	—	40
12	総合	840	551	537	97.5	—	12	549
13	福祉	40	26	24	92.3	—	—	24
14	災害科学	40	39	40	102.6	—	—	40
15	探究	80	143	80	55.9	—	—	80
	計	13,880	14,005	12,016	85.8	247	122	12,138

※ 中高一貫教育進学者数は、連携型選抜合格者数と併設型中学校から併設型高校への進学者数を合わせたもの。第一次募集合格者数の内数である。

ロ 定時制課程

(単位:人,%)

	学 科	募集定員	第一次募集			中高一貫教育 進学者数	第二次募集 合格者数	全合格者数
			出願者数	合格者数	合格率			
1	普通	720	298	275	92.3	—	21	296
2	工業	240	27	23	85.2	—	7	30
	計	960	325	298	91.7	—	28	326

③ 地区別出願者数・合格者数等(全日制課程)

(単位:人,%)

	地 区	募集定員	第一次募集			中高一貫教育 進学者数	第二次募集 合格者数	全合格者数
			出願者数	合格者数	合格率			
1	刈田・柴田	1,240	990	928	93.7	—	25	953
2	伊 具	280	166	162	97.6	—	5	167
	南部地区	1,520	1,156	1,090	94.3	—	30	1,120
3	亶理・名取	960	1,032	886	85.9	—	7	893
4	仙台南	2,320	2,900	2,276	78.5	101	2	2,278
	中部南地区	3,280	3,932	3,162	80.4	101	9	3,171
5	仙台北	2,720	3,554	2,687	75.6	—	6	2,693
6	塩 釜	1,080	1,166	1,027	88.1	—	8	1,035
7	黒 川	480	413	406	98.3	—	9	415
	中部北地区	4,280	5,133	4,120	80.3	—	23	4,143
8	大 崎	1,240	1,010	957	94.8	101	11	968
9	遠 田	440	273	260	95.2	—	11	271
10	登 米	560	477	462	96.9	—	8	470
11	栗 原	520	382	378	99.0	—	2	380
	北部地区	2,760	2,142	2,057	96.0	101	32	2,089
12	石 巻	1,440	1,248	1,197	95.9	—	27	1,224
13	本 吉	600	394	390	99.0	45	1	391
	東部地区	2,040	1,642	1,587	96.7	45	28	1,615
	総 計	13,880	14,005	12,016	85.8	247	122	12,138

※ 中高一貫教育進学者数は、連携型選抜合格者数と併設型中学校から併設型高校への進学者数を合わせたもの。第一次募集合格者数の内数である。

④ 学科別出願倍率

H31は後期選抜, H24は一般入試

(単位:倍)

学 科		出願倍率				
		R4	R3	R2	H31	H24
1	普通	1.09	1.04	1.10	1.18	1.27
2	農業	0.84	0.79	0.84	1.13	0.94
3	工業	0.97	0.93	0.97	1.08	1.21
4	商業	0.79	0.73	0.85	0.95	1.28
5	水産	0.49	0.65	0.73	0.77	0.97
6	体育	0.93	0.96	0.88	1.28	1.54
7	英語	1.09	0.90	1.11	0.89	1.22
8	家庭	0.82	0.82	0.86	0.95	1.06
9	看護	1.45	1.15	1.18	1.50	1.50
10	理数	1.57	1.23	1.50	1.40	1.29
11	美術	1.18	0.93	1.30	1.45	1.00
12	総合	0.66	0.71	0.82	0.79	1.12
13	福祉	0.65	0.58	0.48	0.40	—
14	災害科学	0.98	1.38	1.03	1.04	—
15	探究	1.79	—	—	—	—
全日制課程		1.01	0.96	1.03	1.11	1.23
定時制課程		0.34	0.36	0.37	0.36	0.49

⑤ 地区別出願倍率(全日制課程)

H31は後期選抜, H24は一般入試

(単位:倍)

地 区	出願倍率				
	R4	R3	R2	H31	H24
南部地区	0.76	0.76	0.80	0.84	0.96
中部南地区	1.20	1.15	1.17	1.30	1.46
中部北地区	1.20	1.14	1.21	1.39	1.48
北部地区	0.78	0.73	0.82	0.78	0.97
東部地区	0.80	0.78	0.85	0.84	0.98
総 計	1.01	0.96	1.03	1.11	1.23

⑥ 出願状況から見た全県一学区化に伴う地区外受験状況について

※数値は総受験者に対する各地区外受験者数の割合(%), H31は後期選抜, H24は一般入試

全体推移		県内一学区(H22~)				
		第一次募集制			前期・後期制	一般入試制
		R4	R3	R2	H31	H24
地区外受験者の割合		16.6%	17.0%	16.6%	18.0%	14.5%
内訳	1 中部南北地区間	10.1%	10.3%	10.2%	10.9%	8.7%
	2 中部地区と他地区間	5.8%	5.9%	5.5%	6.3%	5.0%
	3 中部地区以外の地区間	0.7%	0.8%	0.9%	0.8%	0.8%

令和4年度公立高等学校入学者選抜学力検査の分析結果について

1 目 的

- (1) 検査問題の妥当性を検証し、今後の内容・形式等の改善に役立てる。
- (2) 受験者の学習成果の実態を明らかにし、県下中学校の学習指導上の課題を考察し、改善の指針を示す。

2 学力検査の実施教科

国語，社会，数学，理科，英語

3 分析結果

(1) 平均点について

教 科	国語	社会	数学	理科	英語	総点	受験者数
平 均	58.0 (61.2)	57.3 (63.1)	58.2 (47.6)	58.9 (59.0)	54.7 (46.1)	287.0 (271.1)	13,518人 (13,281)

※数値は、全日制課程受験者の値

※（ ）は昨年度の値

(2) 得点分布

別冊3～4ページに記載のとおり

(3) 各教科の概況

全日制課程の学校・学科の中から学力検査総点の受験者平均点を基にして50学科を抽出、さらに調査書総点ごとのバランスに留意して合計400人の答案を抽出し、教科ごと、小問ごとにその状況を分析考察した。

教科	概 況
国語	話すこと・聞くことに関する事項については知識が定着しているが、論理的な文章の構成や展開を考え全体の要旨を把握する力や、本文の叙述に即して、適切に表現する力に課題が見られた。
社会	個々の資料から情報を読み取る力は身に付いているが、資料から得た情報と既習の知識を結び付けて事象を考察する力や、歴史的事象の時期や推移に着目して歴史の流れを理解する力に課題が見られた。
数学	計算についての基礎的・基本的な知識・技能の定着は見られるものの、事象を的確に捉え、数学的に表現し考察する力、論理的に筋道を立てて表現する力に課題が見られた。
理科	基礎的・基本的な知識を活用する問題において、得点率が低いものが複数見られた。観察、実験の条件を的確に捉えて結果を分析・解釈し、それらを基に思考、判断し、表現する力に課題が見られた。
英語	短い会話を理解したり文章の内容をおおまかに理解したりする力は身に付いてきているが、まとまった量の英文の内容を正確に理解したり、必要な情報を探し出したりする力に課題が見られた。

各教科 共 通 (得点率・ 無答率)	基礎的な知識や基本的な技能を問う問題の正答率が高い。一方で、与えられた情報や結果を、既習知識等と結び付けて考察する問題や、論理的に表現する力が求められる問題においては、正答率・得点率が低く、無答率も高い傾向を示している。
-----------------------------	--

※無答率：解答欄が空白であったものの割合

令和5年度公立高等学校入学者選抜について

① 募集定員

	令和5年度	令和4年度	増減
全日制課程＋定時制課程	14,720	14,840	▲ 120
全日制課程	13,760 ※1 ※2	13,880	▲ 120 ※3
定時制課程	960	960	0
通信制課程（美田園高校）	500	500	0
一期入学者選抜	450	450	0
二期入学者選抜	50	50	0

※1： 全日制的第一次募集の募集定員には、併設型及び連携型中学校からの入学予定者282人を含む。

※2： 全国募集選抜は定員の外数とし、（仮称）南三陸高等学校で12人程度、中新田高等学校で5人程度の募集である。

※3： 定数減の内訳

①柴田農林高等学校（食農科学科・動物科学科 2学級80人、森林環境科・園芸工学科 2学級80人）と大河原商業高等学校（流通マネジメント科 1学級40人、情報システム科 2学級80人、OA会計科 1学級40人）の募集停止により320人の減。

②（仮称）大河原産業高等学校（農業科学科 2学級80人、企画デザイン科 1学級40人、総合ビジネス科 3学級120人）の新規設置による240人の増。

③松島高等学校普通科1学級減による、合計40人の減。

② 日程等

第一次募集・連携型選抜・全国募集選抜 ※4 ※5		実施する検査等
本試験	令和5年3月6日（月）	○ 5教科の学力検査（国語・社会・数学・英語・理科） ○ 学校によっては面接・実技・作文のいずれかを実施
追試験 ※6	令和5年3月13日（月）	○ 本試験に準じる
合格発表	令和5年3月16日（木）	
第二次募集 ※7		実施する検査等
検査日	令和5年3月23日（木）	○ 学力検査、面接、実技、作文のいずれか1つ又は複数を実施 ○ 学力検査を実施する場合は、国語・数学・英語のうち1教科以上を実施
合格発表	令和5年3月23日（木） もしくは24日（金）	○ 合格発表の日程については、実施校で定め、後日公表する

※4： 連携型選抜については、連携型中高一貫教育を行っている南三陸町内の2中学校（志津川中、歌津中）の生徒を対象として、（仮称）南三陸高等学校において実施。

※5： 全国募集選抜については、（仮称）南三陸高等学校、中新田高等学校において実施。

※6： やむを得ない事由で、本試験を受験できなかった生徒を対象として実施。

※7： 第一次募集に合格していない生徒等を対象として、合格者数が募集定員に満たない高校において実施。

宮城県公立高等学校入学者選抜に係る質問紙調査実施要項

宮城県教育委員会

仙台市教育委員会

石巻市教育委員会

- 1 実施調査名 「宮城県公立高等学校入学者選抜に係る質問紙調査」
- 2 調査の目的 「令和2年度入学者選抜」からスタートした新しい入試制度について、これまで3カ年の実施状況を踏まえた評価を行うことで、旧制度からの変更点の効果を検証するとともに、その課題と改善の方向性についての意見を集約し、入学者選抜に係る今後の検討の参考とする。
- 3 調査対象 ○県内の国立・公立・私立の中学校，中等教育学校，特別支援学校【悉皆】
○県内の公立高等学校（ただし，美田園高等学校を除く）【悉皆】
○高等学校入学者選抜審議会の専門委員会で抽出した公立高等学校20校に令和4年度1～3年生に在籍する生徒及びその保護者【任意】
- 4 調査期間 令和4年5月下旬から令和4年6月17日（金）までの期間で各学校の実状に応じて実施する。
- 5 回答提出期限 令和4年6月17日（金）
- 6 調査内容 【別添】質問紙を参照
- 7 調査結果の集計・報告 令和4年度高等学校入学者選抜審議会で報告する。
その後，専門委員会等において詳細を検証する。
- 8 その他 質問紙調査実施後のスケジュール
令和4年7月27日 第1回高等学校入学者選抜審議会報告（速報版）
令和4年8月以降 専門委員会で検証作業

【補足】調査対象校数

公立の高等学校	82校	(回答数	82校)
※全日制69校(川崎校含む)・定時制13校		*回答率	100%
国公立の中学校	204校	(回答数	200校)
※国立1校・公立194校・私立8校・中等教育学校1校		*回答率	98.0%
国公立の特別支援学校中等部(高等学園3校除く)	18校	(回答数	15校)
※国立1校・公立17校		*回答率	83.3%
抽出した県立高等学校の在籍生徒	8,221名	(回答数	3,011名)
		*回答率	36.6%
抽出した県立高等学校の在籍生徒の保護者	8,221名	(回答数	2,095名)
		*回答率	25.5%

【補足】生徒・保護者調査依頼校 [抽出]

(※生徒数は各校の令和4年4月1日現在の在籍者数)

地区	普通科	普通科+専門	専門・総合	定時制	生徒数計
南部	角田 (396)	柴田 (406)	村田 (162)	白石七ヶ宿 (37)	1,001
中部 (仙台市内)	仙台二 (955)	泉 (789)	工業 (811)	第二工業 (29)	2,584
中部 (仙台市外)	名取北 (770)	黒川 (491)	農業 (710)	貞山 (203)	2,174
北部	築館 (456)	松山 (136)	登米総合産業 (426)	田尻さくら (186)	1,204
東部	石巻 (605)	志津川 (149)	気仙沼向洋 (298)	東松島 (206)	1,258
生徒数計	3,182	1,971	2,407	661	8,221

抽出の基準：(普通科)各地区の拠点校を中心に抽出

(普通+専門)各地区の普通科で抽出した学校とは異なる地域の高校

(専門・総合)学科の重複がないように抽出

※地区内でも各地域から高校を抽出する。

○実施目的

「令和2年度入学者選抜」からスタートした新しい入試制度について、これまで3カ年の実施状況を踏まえた評価と、その課題についての意見を集約し、入試制度の変更点についての効果を検証するとともに、入学者選抜に係る今後の議論の参考とするために調査を実施するものです。

○入試制度の変更点に関する基礎知識

【令和4年3月の高校の卒業生が受験した平成31年度入学者選抜まで】

実施方法：前期選抜（出願条件あり）、後期選抜及び第二次募集

実施により見えた課題

- ・前期選抜の出願条件により「入りたい高校」ではなく「受験できる高校」へ変化
- ・授業に対する前期選抜合格者と後期選抜受験者との間の温度差
- ・入試期間の長期化により教育活動への支障

【高校3年生が受験した令和2年度入学者選抜から】【新しい入試制度（現行入試制度）】

- ・前期選抜と後期選抜の入試日程を一本化した第一次募集として受験日程の短縮を図る。
- ・各高校がより具体的な求める生徒像等を提示することにより、中学生の目的意識の明確化及び主体的な進路選択を促進させる。
- ・特色選抜と共通選抜を設定して、複数の選抜方法により多角的に受験生を評価する。

新しい入試制度（現行入試制度）について、次の(1)～(6)の質問にお答えください。

(1) 【Q1】高校入試という目標が、生徒が日頃の学習意欲を高めることに役立っている。

1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない

上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

(2) 各高校が示している「求める生徒像・選抜方法」について、次の①～⑧の質問にお答えください。

① 【Q2】生徒が、志望校選択や受験する上で、必要な内容が記載されている。

1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない

上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

② 【Q3】受験生の進路に対する意識を高めることにつながっている。

1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない

上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

③ 【Q4】受験生の意思や判断に基づいた主体的な進路選択につながっている。

1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない

上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

④ 【Q5】日頃の中学校生活において、生徒が学習習慣を身に付けることに役立っている。

1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない

上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

※次頁に続く

- ⑤ 【Q 6】 教員が各高校の特色を理解することに役立っている。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- ⑥ 【Q 7】 教員が受験生に対して進路指導を行うことに役立っている。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- ⑦ 【Q 8】 受験生が各高校の特色を理解することに役立っている。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- ⑧ 【Q 9】 生徒が志をもって中学校生活を充実させることに役立っている。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- (3) 新しい入試制度（現行入試制度）において，入試日程を一本化したことについて，次の①～⑦の質問にお答えください。
- ① 【Q10】 入試期間が短くなり，受験生として緊張が継続する負担が軽減している。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- ② 【Q11】 第一次募集に追試験が導入され，受験に臨む上で，受験生や保護者の安心感につながっている。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- ③ 【Q12】 合格した生徒と受験を控えた生徒が混在することによるクラス運営上の負担が軽減している。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- ④ 【Q13】 教員が個々の生徒に対応するための時間を確保することにつながっている。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- ⑤ 【Q14】 受験指導に費やす時間や出願手続き等の入試事務量の負担軽減につながっている。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- ⑥ 【Q15】 入試期間が短くなり，中学校が教育活動を充実させることに役立っている。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- ⑦ 【Q16】 生徒が進路を決定する際に，共通選抜だけではなく，特色選抜の選抜方法も十分考慮して進路選択を行っている。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

※次頁に続く

(4) 【Q17】1月中旬に公表している出願希望調査は、受験生の進路選択に役立っている。

1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

(5) 新しい入試制度（現行入試制度）の日程について，次の①～③の質問にお答えください。

① 【Q18】第一次募集の出願から第二次募集の実施までの入試に係る日数は，中学校が受験生に対応する上で適切である。

1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

② 【Q19】第一次募集の本試験から追試験までの日数は，中学校が受験生に対応する上で適切な期間を保障している。

1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

③ 【Q20】第一次募集の合格発表から第二次募集までの日数は，中学校が受験生に対応する上で適切な期間を保障している。

1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

(6) 【Q21】入試制度に関する御意見や御要望がありましたら，回答欄に自由に御記入ください。

以上，御協力ありがとうございました。

○実施目的

「令和2年度入学者選抜」からスタートした新しい入試制度について、これまで3カ年の実施状況を踏まえた評価と、その課題についての意見を集約し、入試制度の変更点についての効果を検証するとともに、入学者選抜に係る今後の議論の参考とするために調査を実施するものです。

○入試制度の変更点に関する基礎知識

【令和4年3月の高校の卒業生が受験した平成31年度入学者選抜まで】

実施方法：前期選抜（出願条件あり）、後期選抜及び第二次募集

実施により見えた課題

- ・前期選抜の出願条件により「入りたい高校」ではなく「受験できる高校」へ変化
- ・授業に対する前期選抜合格者と後期選抜受験者との温度差
- ・入試期間の長期化により教育活動への支障

【高校3年生が受験した令和2年度入学者選抜から】【新しい入試制度（現行入試制度）】

- ・前期選抜と後期選抜の入試日程を一本化した第一次募集として受験日程の短縮を図る。
- ・各高校がより具体的な求める生徒像等を提示することにより、中学生の目的意識の明確化及び主体的な進路選択を促進させる。
- ・特色選抜と共通選抜を設定して、複数の選抜方法により多角的に受験生を評価する。

新しい入試制度（現行入試制度）について、次の(1)～(5)の質問にお答えください。

- (1) 各高校が示している「求める生徒像・選抜方法」について、次の①～⑥の質問にお答えください。
- ① 【Q1】 受験生が、志望校選択や受験する上で、必要な内容を記載している。
1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない
上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- ② 【Q2】 受験生が目的意識を向上させることにつながっている。
1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない
上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- ③ 【Q3】 受験生の意思や判断に基づいた主体的な進路選択につながっている。
1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない
上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- ④ 【Q4】 各高校が進める特色ある学校づくりに役立っている。
1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない
上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- ⑤ 【Q5】 中学校の教員が、各高校の特色を理解することに役立っている。
1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない
上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

※次頁に続く

⑥ 【Q 6】受験生が各高校の特色を理解することに役立っている。

1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

(2) 新しい入試制度（現行入試制度）において，入試日程を一本化し，共通選抜と特色選抜を設定したことについて，次の①～⑥の質問にお答えください。

① 【Q 7】入試期間が短くなり，在校生徒に対応する時間の確保につながっている。

1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

② 【Q 8】入試期間が短くなり，高校の教育活動を充実させることに役立っている。

1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

③ 【Q 9】高校における入試業務の負担が軽減している。

1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

④ 【Q10】入試日程を一本化しても，複数の選抜機会が維持されている。

1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

⑤ 【Q11】学校の特色に沿った資質・能力を多面的に評価することにつながっている。

1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

⑥ 【Q12】求める生徒像に沿った資質・能力を多面的に評価することにつながっている。

1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

(3) 【Q13】1月中旬に公表している出願希望調査は，受験生の進路選択に役立っている。

1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

(4) 新しい入試制度（現行入試制度）の日程について，次の①～③の質問にお答えください。

① 【Q14】第一次募集の出願から第二次募集の実施までの入試に係る日数は，高校が入試を実施する上で適切である。

1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

② 【Q15】第一次募集の本試験から追試験までの日数は，高校が入試を実施する上で適切な期間を保障している。

1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

※次頁に続く

③ 【Q16】 第一次募集の合格発表から第二次募集までの日数は、高校が入試を実施する上で適切な期間を保障している。

1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない
上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

(5) 【Q17】 入試制度に関する御意見や御要望がありましたら、回答欄に自由に御記入ください。

以上、御協力ありがとうございました。

宮城県公立高校入学者選抜に係る質問紙調査

【生徒用】

○実施目的

「令和2年度入学者選抜」からスタートした新入試制度について、これまで3カ年の実施状況を踏まえた評価と、その課題についての意見を集約し、入試制度の変更点についての効果を検証するとともに、入学者選抜に係る今後の議論の参考とするために調査を実施するものです。

○入試制度の変更点に関する基礎知識

【令和4年3月の高校の卒業生が受験した平成31年度入学者選抜まで】

実施方法：前期選抜（出願条件あり）、後期選抜及び第二次募集

実施により見えた課題

- ・前期選抜の出願条件により「入りたい高校」ではなく「受験できる高校」へ変化
- ・授業に対する前期選抜合格者と後期選抜受験者との間の温度差
- ・入試期間の長期化により教育活動への支障

【高校3年生が受験した令和2年度入学者選抜から】【新しい入試制度（現行入試制度）】

- ・前期選抜と後期選抜の入試日程を一本化した第一次募集として受験日程の短縮を図る。
- ・各高校がより具体的な求める生徒像等を提示することにより、中学生の目的意識の明確化及び主体的な進路選択を促進させる。
- ・特色選抜と共通選抜を設定して、複数の選抜方法により多角的に受験生を評価する。

新しい入試制度（現行入試制度）について、次の(1)～(7)の質問にお答えください。

(1) 高校入試（学力検査）について、次の①～③の質問にお答えください。

① 【Q1】自分の将来を考える機会になった。

1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない
上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

② 【Q2】中学校生活において、日頃の学習意欲を高めることに役立った。

1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない
上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

③ 【Q3】中学校生活において、学習習慣を身に付けることに役立った。

1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない
上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

(2) 各高校が示している「求める生徒像・選抜方法」について、次の①～⑤の質問にお答えください。

① 【Q4】受験生が、志望校選択や受験する上で、必要な内容が記載されていた。

1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない
上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

② 【Q5】受験生にとって、内容がわかりやすく記載されていた。

1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない
上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

※次頁に続く

- ③ 【Q 6】受験生が各高校の特色を理解することに役立った。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- ④ 【Q 7】受験生が進路に対する意識を高めることに役立った。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- ⑤ 【Q 8】自分の意思や判断に基づいた主体的な進路選択に役立った。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- (3) 【Q 9】第一次募集に追試験を導入したことは，受験に臨む上での安心感につながった。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- (4) 【Q10】1月中旬に公表している出願希望調査は進路選択に役立った。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- (5) 【Q11】第一次募集の出願から本試験を経て合格発表までの入試に係る日数は，受験生にとって適切であった。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- (6) 【Q12】進路を決定する際に，共通選抜だけではなく，特色選抜の選抜方法も十分考慮して進路選択を行った。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- (7) 【Q13】入試制度に関する御意見や御要望がありましたら，回答欄に自由に御記入ください。

以上，御協力ありがとうございました。

○実施目的

「令和2年度入学者選抜」からスタートした新入試制度について、これまで3カ年の実施状況を踏まえた評価と、その課題についての意見を集約し、入試制度の変更点についての効果を検証するとともに、入学者選抜に係る今後の議論の参考とするために調査を実施するものです。

○入試制度の変更点に関する基礎知識

【令和4年3月の高校の卒業生が受験した平成31年度入学者選抜まで】

実施方法：前期選抜（出願条件あり）、後期選抜及び第二次募集

実施により見えた課題

- ・前期選抜の出願条件により「入りたい高校」ではなく「受験できる高校」へ変化
- ・授業に対する前期選抜合格者と後期選抜受験者との間の温度差
- ・入試期間の長期化により教育活動への支障

【高校3年生が受験した令和2年度入学者選抜から】【新しい入試制度（現行入試制度）】

- ・前期選抜と後期選抜の入試日程を一本化した第一次募集として受験日程の短縮を図る。
- ・各高校がより具体的な求める生徒像等を提示することにより、中学生の目的意識の明確化及び主体的な進路選択を促進させる。
- ・特色選抜と共通選抜を設定して、複数の選抜方法により多角的に受験生を評価する。

新しい入試制度（現行入試制度）について、次の(1)～(7)の質問にお答えください。

(1) 高校入試（学力検査）について、次の①～③の質問にお答えください。

① 【Q1】 受験生が将来について考える機会になった。

1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない
上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

② 【Q2】 中学校生活において、受験生が日頃の学習意欲を高めることに役立った。

1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない
上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

③ 【Q3】 中学校生活において、受験生が学習習慣を身に付けることに役立った。

1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない
上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

(2) 各高校が示している「求める生徒像・選抜方法」について、次の①～⑤の質問にお答えください。

① 【Q4】 受験生が、志望校選択や受験する上で、必要な内容が記載されていた。

1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない
上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

② 【Q5】 受験生にとって、内容がわかりやすく記載されていた。

1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない
上記の質問に、そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。

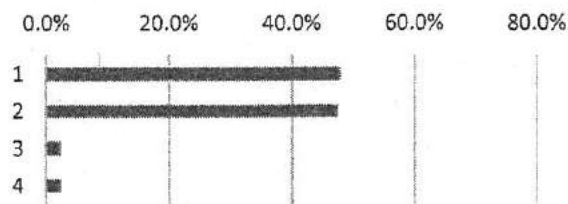
※次頁に続く

- ③ 【Q 6】受験生が各高校の特色を理解することに役立った。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- ④ 【Q 7】受験生が進路に対する意識を高めることに役立った。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- ⑤ 【Q 8】受験生の意思や判断に基づいた主体的な進路選択に役立った。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- (3) 【Q 9】第一次募集に追試験を導入したことは，受験生や保護者に対して，受験に臨む上での
安心感につながった。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- (4) 【Q10】1月中旬に公表している出願希望調査は，受験生の進路選択に役立った。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- (5) 【Q11】第一次募集の出願から本試験を経て合格発表までの入試に係る日数は，受験生にとっ
て適切であった。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- (6) 【Q12】受験生が進路を決定する際に，共通選抜だけではなく，特色選抜の選抜方法も十分考
慮して進路選択を行った。
1：そう思う，2：どちらかと言えばそう思う，3：どちらかと言えばそう思わない，4：そう思わない
上記の質問に，そのように判断した具体的な事由等があれば記入してください。
- (7) 【Q13】入試制度に関する御意見や御要望がありましたら，回答欄に自由に御記入ください。

以上，御協力ありがとうございました。

(1) 【Q1】 高校入試という目標が、生徒が日頃の学習意欲を高めることに役立っている。

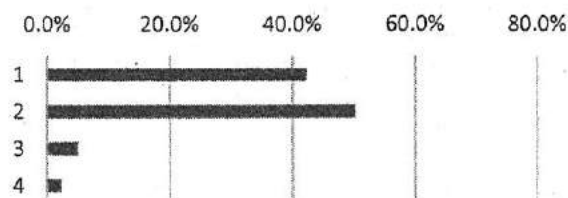
1：そう思う	103	47.9%
2：どちらかといえばそう思う	102	47.4%
3：どちらかといえばそう思わない	5	2.3%
4：そう思わない	5	2.3%
回答数合計	215	



(2) 各高校が示している「求める生徒像・選抜方法」について、次の①～⑧の質問にお答えください。

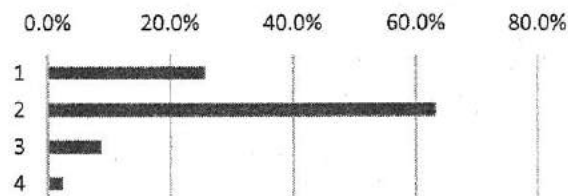
① 【Q2】 生徒が、志望校選択や受験する上で、必要な内容が記載されている。

1：そう思う	91	42.3%
2：どちらかといえばそう思う	108	50.2%
3：どちらかといえばそう思わない	11	5.1%
4：そう思わない	5	2.3%
回答数合計	215	



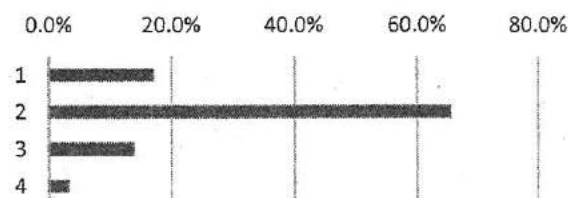
② 【Q3】 受験生の進路に対する意識を高めることにつながっている。

1：そう思う	55	25.6%
2：どちらかといえばそう思う	136	63.3%
3：どちらかといえばそう思わない	19	8.8%
4：そう思わない	5	2.3%
回答数合計	215	



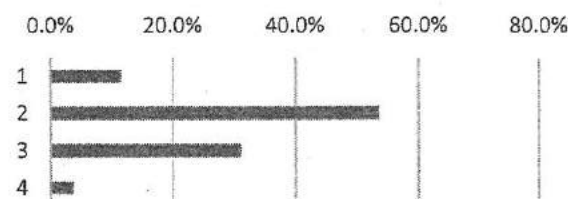
③ 【Q4】 受験生の意思や判断に基づいた主体的な進路選択につながっている。

1：そう思う	37	17.2%
2：どちらかといえばそう思う	141	65.6%
3：どちらかといえばそう思わない	30	14.0%
4：そう思わない	7	3.3%
回答数合計	215	



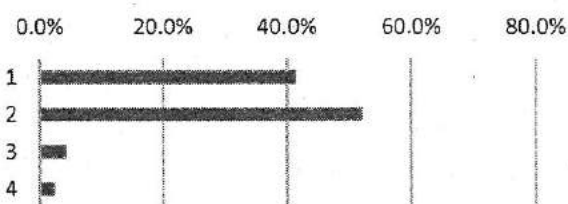
④ 【Q5】 日頃の中学校生活において、生徒が学習習慣を身に付けることに役立っている。

1：そう思う	25	11.6%
2：どちらかといえばそう思う	115	53.5%
3：どちらかといえばそう思わない	67	31.2%
4：そう思わない	8	3.7%
回答数合計	215	



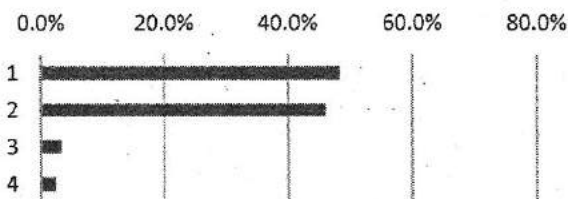
⑤ 【Q6】 教員が各高校の特色を理解することに役立っている。

1 : そう思う	89	41.4%
2 : どちらかといえばそう思う	112	52.1%
3 : どちらかといえばそう思わない	9	4.2%
4 : そう思わない	5	2.3%
回答数合計	215	



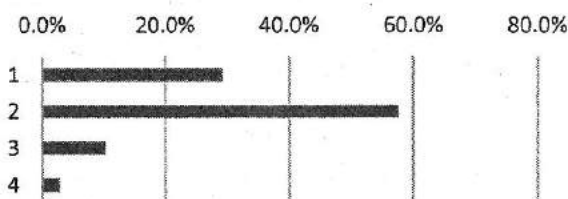
⑥ 【Q7】 教員が受験生に対して進路指導を行うことに役立っている。

1 : そう思う	104	48.4%
2 : どちらかといえばそう思う	99	46.0%
3 : どちらかといえばそう思わない	7	3.3%
4 : そう思わない	5	2.3%
回答数合計	215	



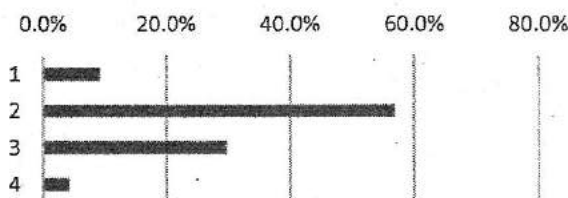
⑦ 【Q8】 受験生が各高校の特色を理解することに役立っている。

1 : そう思う	63	29.3%
2 : どちらかといえばそう思う	124	57.7%
3 : どちらかといえばそう思わない	22	10.2%
4 : そう思わない	6	2.8%
回答数合計	215	



⑧ 【Q9】 生徒が志をもって中学校生活を充実させることに役立っている。

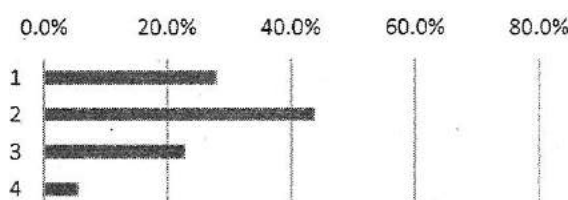
1 : そう思う	20	9.3%
2 : どちらかといえばそう思う	122	56.7%
3 : どちらかといえばそう思わない	64	29.8%
4 : そう思わない	9	4.2%
回答数合計	215	



(3) 新しい入試制度（現行入試制度）において、入試日程を一本化したことについて、次の①～⑦の質問にお答えください。

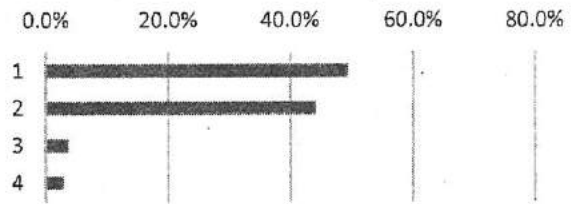
① 【Q10】 入試期間が短くなり、受験生として緊張が継続する負担が軽減している。

1 : そう思う	60	27.9%
2 : どちらかといえばそう思う	94	43.7%
3 : どちらかといえばそう思わない	49	22.8%
4 : そう思わない	12	5.6%
回答数合計	215	



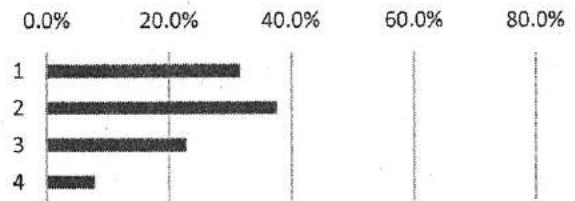
② 【Q11】 第一次募集に追試験が導入され、受験に臨む上で、受験生や保護者の安心感につながっている。

1：そう思う	106	49.3%
2：どちらかといえばそう思う	95	44.2%
3：どちらかといえばそう思わない	8	3.7%
4：そう思わない	6	2.8%
回答数合計	215	



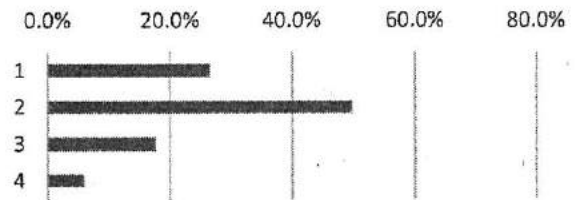
③ 【Q12】 合格した生徒と受験を控えた生徒が混在することによるクラス運営上の負担が軽減している。

1：そう思う	68	31.6%
2：どちらかといえばそう思う	81	37.7%
3：どちらかといえばそう思わない	49	22.8%
4：そう思わない	17	7.9%
回答数合計	215	



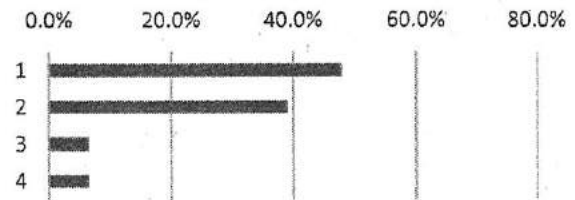
④ 【Q13】 教員が個々の生徒に対応するための時間を確保することにつながっている。

1：そう思う	57	26.5%
2：どちらかといえばそう思う	107	49.8%
3：どちらかといえばそう思わない	38	17.7%
4：そう思わない	13	6.0%
回答数合計	215	



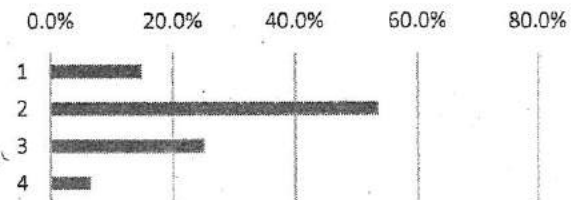
⑤ 【Q14】 受験指導に費やす時間や出願手続き等の入試事務量の負担軽減につながっている。

1：そう思う	103	47.9%
2：どちらかといえばそう思う	84	39.1%
3：どちらかといえばそう思わない	14	6.5%
4：そう思わない	14	6.5%
回答数合計	215	



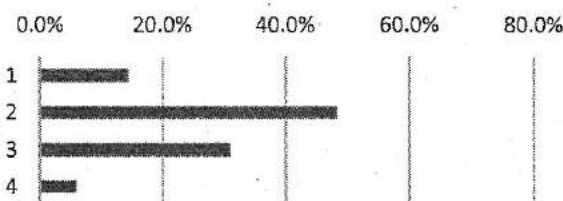
⑥ 【Q15】 入試期間が短くなり、中学校が教育活動を充実させることに役立っている。

1：そう思う	32	14.9%
2：どちらかといえばそう思う	115	53.5%
3：どちらかといえばそう思わない	54	25.1%
4：そう思わない	14	6.5%
回答数合計	215	



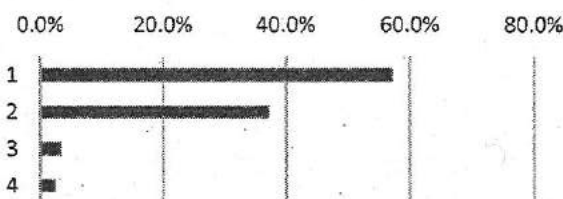
⑦【Q16】生徒が進路を決定する際に、共通選抜だけではなく、特色選抜の選抜方法も十分考慮して進路選択を行っている。

1：そう思う	31	14.4%
2：どちらかといえばそう思う	104	48.4%
3：どちらかといえばそう思わない	67	31.2%
4：そう思わない	13	6.0%
回答数合計	215	



(4)【Q17】1月中旬に公表している出願希望調査は、受験生の進路選択に役に立っている。

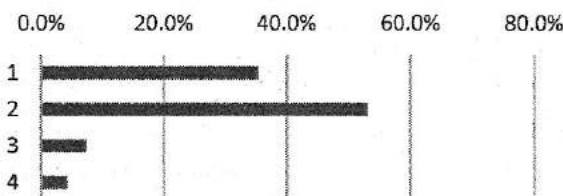
1：そう思う	123	57.2%
2：どちらかといえばそう思う	80	37.2%
3：どちらかといえばそう思わない	7	3.3%
4：そう思わない	5	2.3%
回答数合計	215	



(5)新しい入試制度（現行入試制度）の日程について、次の①～③の質問にお答えください。

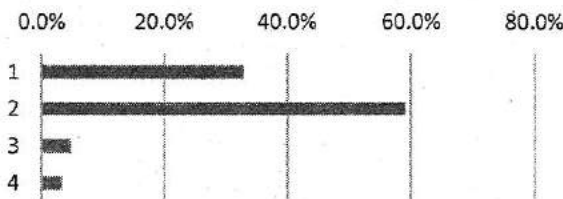
①【Q18】第一次募集の出願から第二次募集の実施までの入試に係る日数は、中学校が受験生に対応する上で適切である。

1：そう思う	76	35.3%
2：どちらかといえばそう思う	114	53.0%
3：どちらかといえばそう思わない	16	7.4%
4：そう思わない	9	4.2%
回答数合計	215	



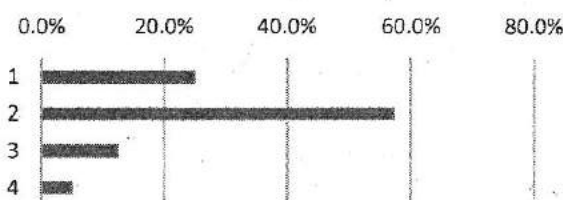
②【Q19】第一次募集の本試験から追試験までの日数は、中学校が受験生に対応する上で適切な期間を保障している。

1：そう思う	71	33.0%
2：どちらかといえばそう思う	127	59.1%
3：どちらかといえばそう思わない	10	4.7%
4：そう思わない	7	3.3%
回答数合計	215	



③【Q20】第一次募集の合格発表から第二次募集までの日数は、中学校が受験生に対応する上で適切な期間を保障している。

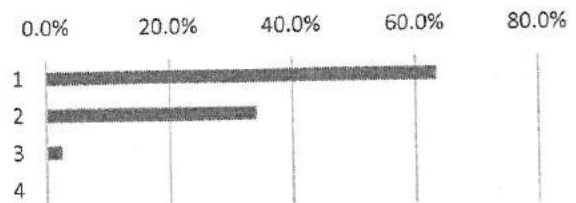
1：そう思う	54	25.1%
2：どちらかといえばそう思う	123	57.2%
3：どちらかといえばそう思わない	27	12.6%
4：そう思わない	11	5.1%
回答数合計	215	



(1) 各高校が示している「求める生徒像・選抜方法」について、次の①～⑥の質問にお答えください。

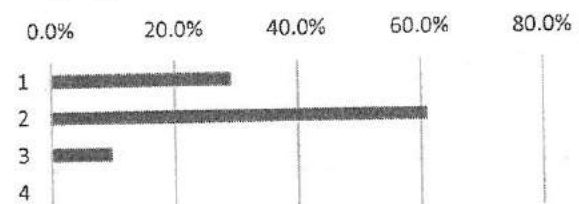
①【Q1】受験生が、志望校選択や受験する上で、必要な内容を記載している。

1：そう思う	52	63.4%
2：どちらかといえばそう思う	28	34.1%
3：どちらかといえばそう思わない	2	2.4%
4：そう思わない	0	0.0%
回答数合計		82



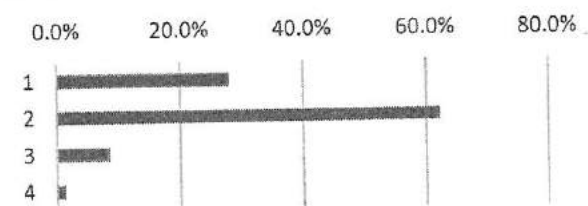
②【Q2】受験生が目的意識を向上させることにつながっている。

1：そう思う	24	29.3%
2：どちらかといえばそう思う	50	61.0%
3：どちらかといえばそう思わない	8	9.8%
4：そう思わない	0	0.0%
回答数合計		82



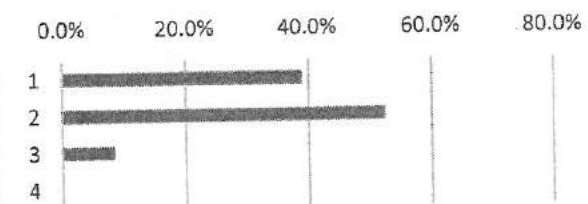
③【Q3】受験生の意思や判断に基づいた主体的な進路選択につながっている。

1：そう思う	23	28.0%
2：どちらかといえばそう思う	51	62.2%
3：どちらかといえばそう思わない	7	8.5%
4：そう思わない	1	1.2%
回答数合計		82



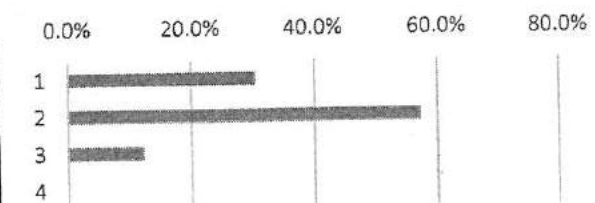
④【Q4】各高校が進める特色ある学校づくりに役立っている。

1：そう思う	32	39.0%
2：どちらかといえばそう思う	43	52.4%
3：どちらかといえばそう思わない	7	8.5%
4：そう思わない	0	0.0%
回答数合計		82



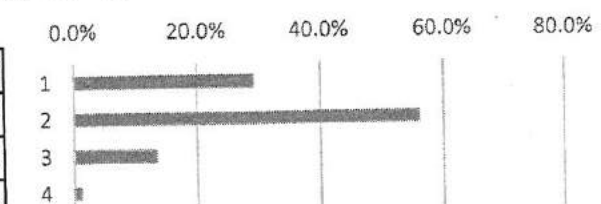
⑤【Q5】中学校の教員が、各高校の特色を理解することに役立っている。

1：そう思う	25	30.5%
2：どちらかといえばそう思う	47	57.3%
3：どちらかといえばそう思わない	10	12.2%
4：そう思わない	0	0.0%
回答数合計		82



⑥【Q6】受験生が各高校の特色を理解することに役立っている。

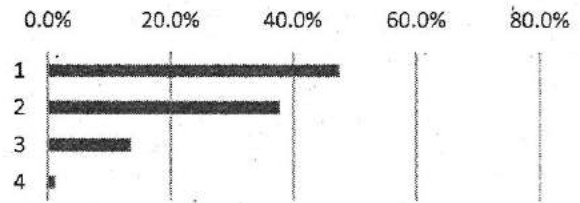
1：そう思う	24	29.3%
2：どちらかといえばそう思う	46	56.1%
3：どちらかといえばそう思わない	11	13.4%
4：そう思わない	1	1.2%
回答数合計		82



(2) 新しい入試制度（現行入試制度）において、入試日程を一本化し、共通選抜と特色選抜を設定したことについて、次の①～⑥の質問にお答えください。

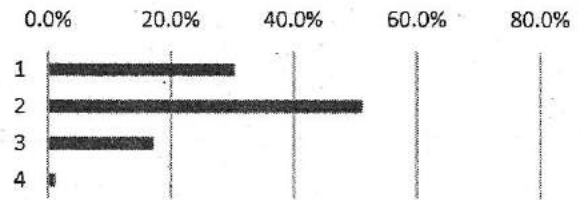
①【Q7】入試期間が短くなり、在校生徒に対応する時間の確保につながっている。

1：そう思う	39	47.6%
2：どちらかといえばそう思う	31	37.8%
3：どちらかといえばそう思わない	11	13.4%
4：そう思わない	1	1.2%
回答数合計	82	



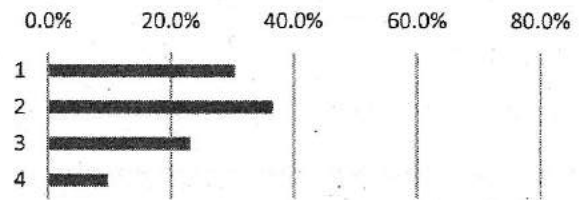
②【Q8】入試期間が短くなり、高校の教育活動を充実させることに役立っている。

1：そう思う	25	30.5%
2：どちらかといえばそう思う	42	51.2%
3：どちらかといえばそう思わない	14	17.1%
4：そう思わない	1	1.2%
回答数合計	82	



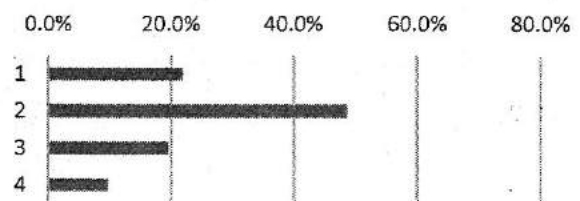
③【Q9】高校における入試業務の負担が軽減している。

1：そう思う	25	30.5%
2：どちらかといえばそう思う	30	36.6%
3：どちらかといえばそう思わない	19	23.2%
4：そう思わない	8	9.8%
回答数合計	82	



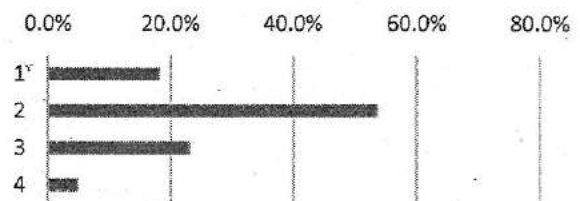
④【Q10】入試日程を一本化しても、複数の選抜機会が維持されている。

1：そう思う	18	22.0%
2：どちらかといえばそう思う	40	48.8%
3：どちらかといえばそう思わない	16	19.5%
4：そう思わない	8	9.8%
回答数合計	82	



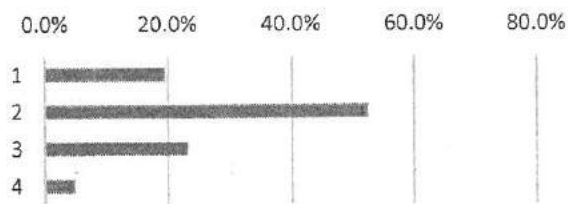
⑤【Q11】学校の特色に沿った資質・能力を多面的に評価することにつながっている。

1：そう思う	15	18.3%
2：どちらかといえばそう思う	44	53.7%
3：どちらかといえばそう思わない	19	23.2%
4：そう思わない	4	4.9%
回答数合計	82	



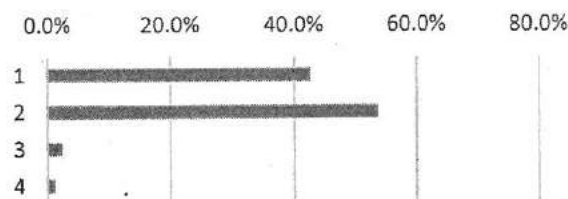
⑥ 【Q12】 求める生徒像に沿った資質・能力を多面的に評価することにつながっている。

1 : そう思う	16	19.5%
2 : どちらかといえばそう思う	43	52.4%
3 : どちらかといえばそう思わない	19	23.2%
4 : そう思わない	4	4.9%
回答数合計	82	



(3) 【Q13】 1月中旬に公表している出願希望調査は、受験生の進路選択に役立っている。

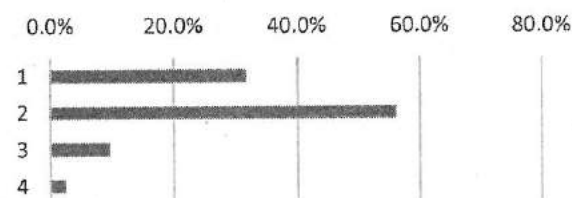
1 : そう思う	35	42.7%
2 : どちらかといえばそう思う	44	53.7%
3 : どちらかといえばそう思わない	2	2.4%
4 : そう思わない	1	1.2%
回答数合計	82	



(4) 新しい入試制度（現行入試制度）の日程について、次の①～③の質問にお答えください。

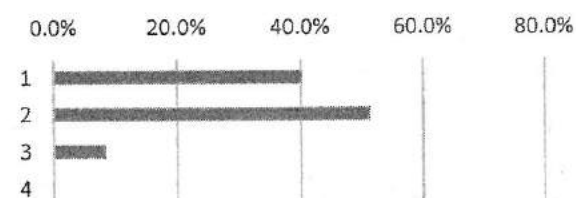
① 【Q14】 第一次募集の出願から第二次募集の実施までの入試に係る日数は、高校が入試を実施する上で適切である。

1 : そう思う	26	31.7%
2 : どちらかといえばそう思う	46	56.1%
3 : どちらかといえばそう思わない	8	9.8%
4 : そう思わない	2	2.4%
回答数合計	82	



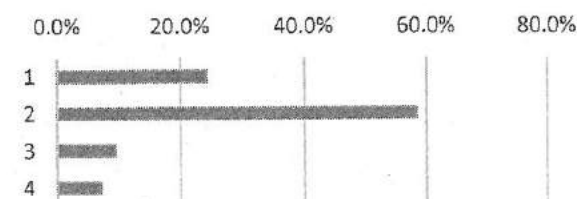
② 【Q15】 第一次募集の本試験から追試験までの日数は、高校が入試を実施する上で適切な期間を保障している。

1 : そう思う	33	40.2%
2 : どちらかといえばそう思う	42	51.2%
3 : どちらかといえばそう思わない	7	8.5%
4 : そう思わない	0	0.0%
回答数合計	82	



③ 【Q16】 第一次募集の合格発表から第二次募集までの日数は、高校が入試を実施する上で適切な期間を保障している。

1 : そう思う	20	24.4%
2 : どちらかといえばそう思う	48	58.5%
3 : どちらかといえばそう思わない	8	9.8%
4 : そう思わない	6	7.3%
回答数合計	82	



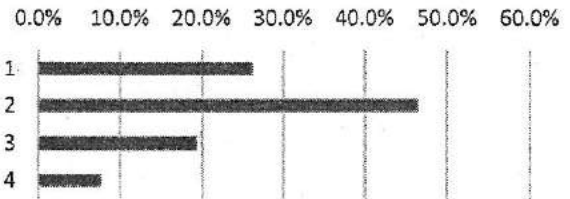
宮城県公立高校入学者選抜に係る質問紙調査 集計結果速報値 【質問対象：生徒】

2022.7.1

(1) 高校入試（学力検査）について、次の①～③の質問にお答えください。

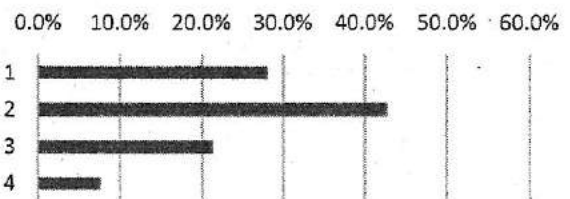
①【Q1】自分の将来を考える機会になった。

1：そう思う	792	26.3%
2：どちらかといえばそう思う	1399	46.5%
3：どちらかといえばそう思わない	586	19.5%
4：そう思わない	234	7.8%
回答数合計	3011	



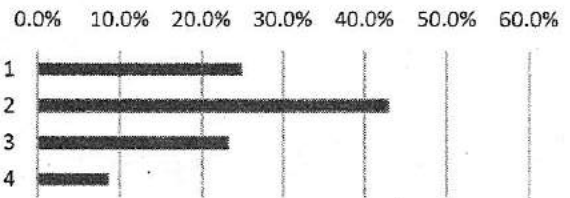
②【Q2】中学校生活において、日頃の学習意欲を高めることに役立った。

1：そう思う	848	28.2%
2：どちらかといえばそう思う	1288	42.8%
3：どちらかといえばそう思わない	644	21.4%
4：そう思わない	231	7.7%
回答数合計	3011	



③【Q3】中学校生活において、学習習慣を身に付けることに役立った。

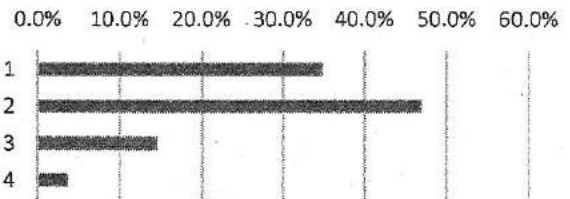
1：そう思う	752	25.0%
2：どちらかといえばそう思う	1296	43.0%
3：どちらかといえばそう思わない	703	23.3%
4：そう思わない	260	8.6%
回答数合計	3011	



(2) 各高校が示している「求める生徒像・選抜方法」について、次の①～⑤の質問にお答えください。

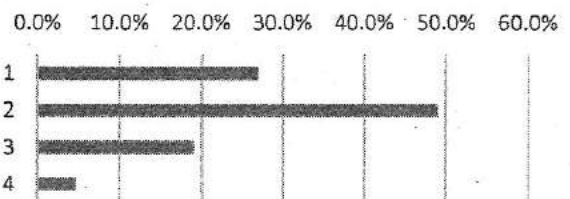
①【Q4】受験生が、志望校選択や受験する上で、必要な内容が記載されていた。

1：そう思う	1049	34.8%
2：どちらかといえばそう思う	1413	46.9%
3：どちらかといえばそう思わない	438	14.5%
4：そう思わない	111	3.7%
回答数合計	3011	



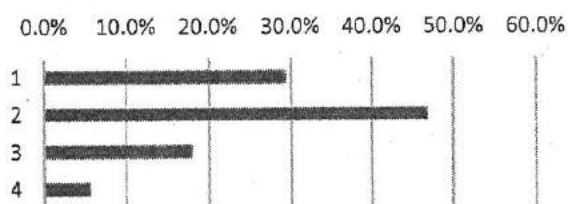
②【Q5】受験生にとって、内容がわかりやすく記載されていた。

1：そう思う	815	27.1%
2：どちらかといえばそう思う	1474	49.0%
3：どちらかといえばそう思わない	576	19.1%
4：そう思わない	146	4.8%
回答数合計	3011	



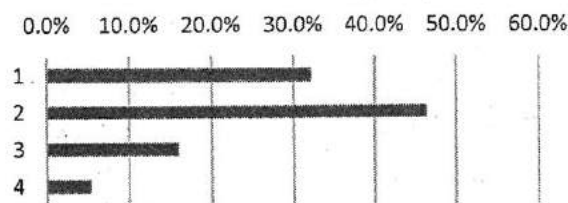
③【Q6】受験生が各高校の特色の理解することに役立った。

1：そう思う	886	29.4%
2：どちらかといえばそう思う	1411	46.9%
3：どちらかといえばそう思わない	544	18.1%
4：そう思わない	170	5.6%
回答数合計	3011	



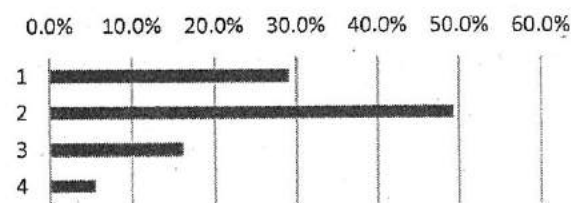
④【Q7】受験生が進路に対する意識を高めることに役立った。

1：そう思う	969	32.2%
2：どちらかといえばそう思う	1396	46.4%
3：どちらかといえばそう思わない	482	16.0%
4：そう思わない	164	5.4%
回答数合計	3011	



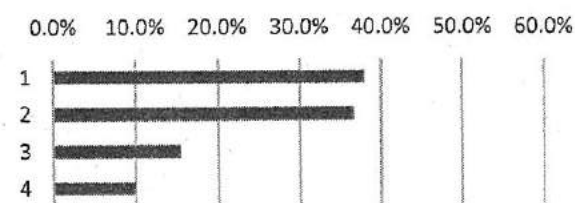
⑤【Q8】自分の意思や判断に基づいた主体的な進路選択に役立った。

1：そう思う	876	29.1%
2：どちらかといえばそう思う	1483	49.3%
3：どちらかといえばそう思わない	487	16.2%
4：そう思わない	165	5.5%
回答数合計	3011	



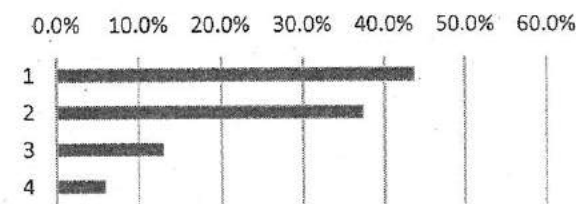
(3) 【Q9】第一次募集に追試験を導入したことは、受験に臨む上での安心感につながった。

1：そう思う	1142	37.9%
2：どちらかといえばそう思う	1103	36.6%
3：どちらかといえばそう思わない	465	15.4%
4：そう思わない	301	10.0%
回答数合計	3011	



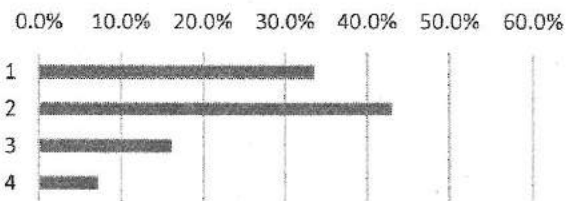
(4) 【Q10】1月中旬に公表している出願希望調査は進路選択に役立った。

1：そう思う	1315	43.7%
2：どちらかといえばそう思う	1124	37.3%
3：どちらかといえばそう思わない	394	13.1%
4：そう思わない	178	5.9%
回答数合計	3011	



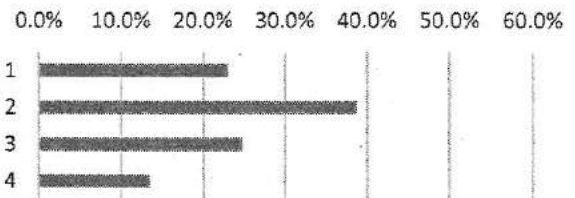
- (5) 【Q11】 第一次募集の出願から本試験を経て合格発表までの入試に係る日数は、受験生にとって適切であった。

1：そう思う	1012	33.6%
2：どちらかといえばそう思う	1296	43.0%
3：どちらかといえばそう思わない	486	16.1%
4：そう思わない	217	7.2%
回答数合計	3011	



- (6) 【Q12】 進路を決定する際に、共通選抜だけではなく、特色選抜の選抜方法も十分考慮して進路選択を行った。

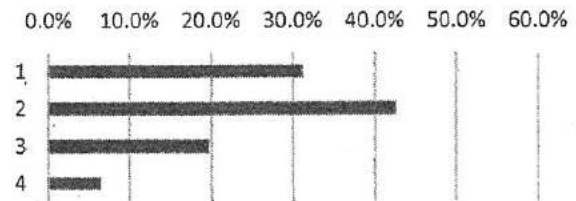
1：そう思う	692	23.0%
2：どちらかといえばそう思う	1165	38.7%
3：どちらかといえばそう思わない	747	24.8%
4：そう思わない	407	13.5%
回答数合計	3011	



(1) 高校入試（学力検査）について、次の①～③の質問にお答えください。

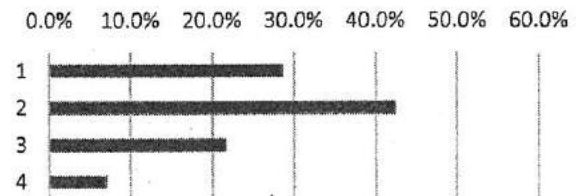
①【Q1】受験生が将来について考える機会になった。

1：そう思う	654	31.2%
2：どちらかといえばそう思う	892	42.6%
3：どちらかといえばそう思わない	414	19.8%
4：そう思わない	135	6.4%
回答数合計	2095	



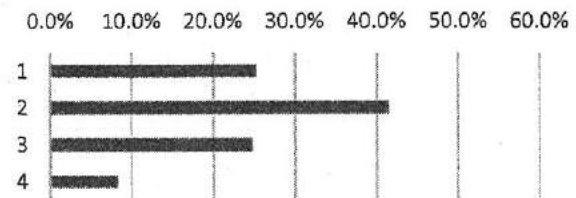
②【Q2】中学校生活において、受験生が日頃の学習意欲を高めることに役立った。

1：そう思う	603	28.8%
2：どちらかといえばそう思う	889	42.4%
3：どちらかといえばそう思わない	454	21.7%
4：そう思わない	149	7.1%
回答数合計	2095	



③【Q3】中学校生活において、受験生が学習習慣を身に付けることに役立った。

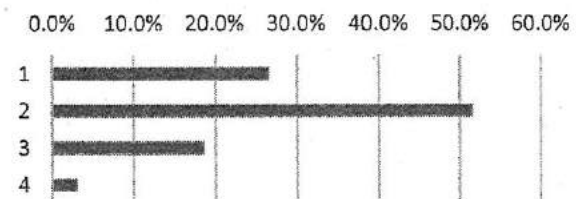
1：そう思う	530	25.3%
2：どちらかといえばそう思う	869	41.5%
3：どちらかといえばそう思わない	521	24.9%
4：そう思わない	175	8.4%
回答数合計	2095	



(2) 各高校が示している「求める生徒像・選抜方法」について、次の①～⑤の質問にお答えください。

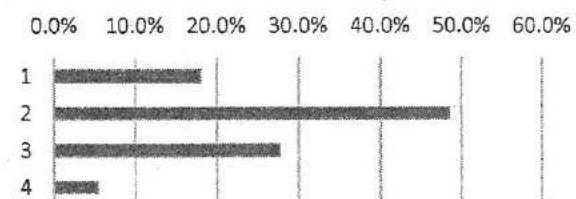
①【Q4】受験生が、志望校選択や受験する上で、必要な内容が記載されていた。

1：そう思う	557	26.6%
2：どちらかといえばそう思う	1081	51.6%
3：どちらかといえばそう思わない	392	18.7%
4：そう思わない	65	3.1%
回答数合計	2095	



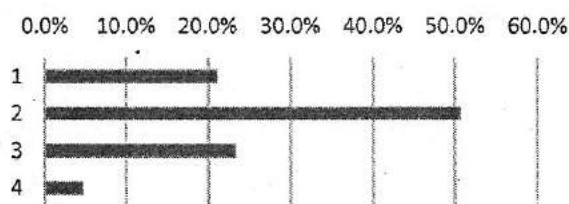
②【Q5】受験生にとって、内容がわかりやすく記載されていた。

1：そう思う	380	18.1%
2：どちらかといえばそう思う	1016	48.5%
3：どちらかといえばそう思わない	584	27.9%
4：そう思わない	115	5.5%
回答数合計	2095	



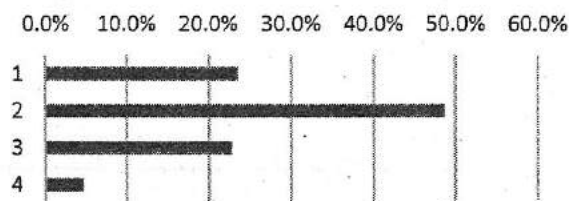
③【Q6】受験生が各高校の特色を理解することに役立った。

1：そう思う	443	21.1%
2：どちらかといえばそう思う	1063	50.7%
3：どちらかといえばそう思わない	490	23.4%
4：そう思わない	99	4.7%
回答数合計	2095	



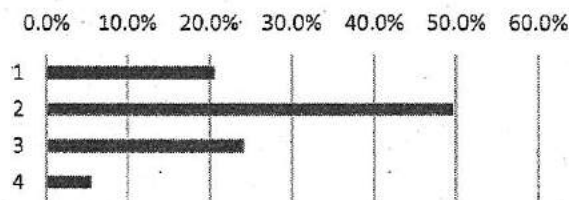
④【Q7】受験生が進路に対する意識を高めることに役立った。

1：そう思う	496	23.7%
2：どちらかといえばそう思う	1020	48.7%
3：どちらかといえばそう思わない	480	22.9%
4：そう思わない	99	4.7%
回答数合計	2095	



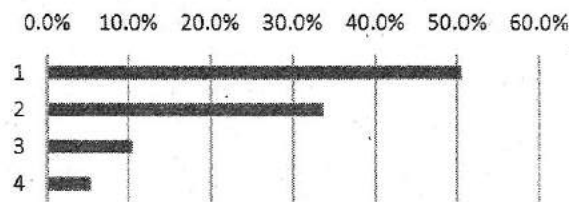
⑤【Q8】受験生の意思や判断に基づいた主体的な進路選択に役立った。

1：そう思う	433	20.7%
2：どちらかといえばそう思う	1038	49.5%
3：どちらかといえばそう思わない	507	24.2%
4：そう思わない	117	5.6%
回答数合計	2095	



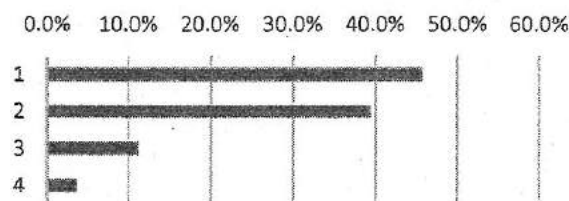
(3) 【Q9】第一次募集に追試験を導入したことは、受験生や保護者に対して、受験に臨む上での安心感につながった。

1：そう思う	1058	50.5%
2：どちらかといえばそう思う	705	33.7%
3：どちらかといえばそう思わない	220	10.5%
4：そう思わない	112	5.3%
回答数合計	2095	



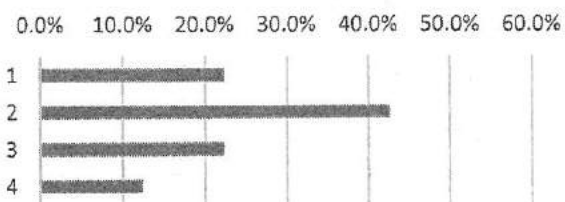
(4) 【Q10】1月中旬に公表している出願希望調査は、受験生の進路選択に役立った。

1：そう思う	957	45.7%
2：どちらかといえばそう思う	825	39.4%
3：どちらかといえばそう思わない	235	11.2%
4：そう思わない	78	3.7%
回答数合計	2095	



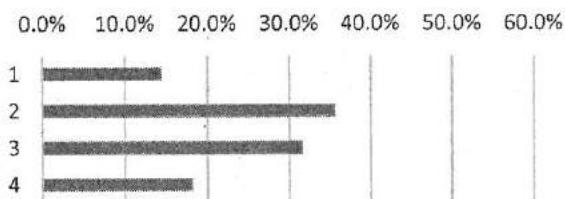
- (5) 【Q11】 第一次募集の出願から本試験を経て合格発表までの入試に係る日数は、受験生にとって適切であった。

1：そう思う	470	22.4%
2：どちらかといえばそう思う	894	42.7%
3：どちらかといえばそう思わない	470	22.4%
4：そう思わない	261	12.5%
回答数合計	2095	



- (6) 【Q12】 受験生が進路を決定する際に、共通選抜だけではなく、特色選抜の選抜方法も十分考慮して進路選択を行った。

1：そう思う	303	14.5%
2：どちらかといえばそう思う	747	35.7%
3：どちらかといえばそう思わない	663	31.6%
4：そう思わない	382	18.2%
回答数合計	2095	



県立高校の全国募集実施について

1 目的

県外の生徒と本県の生徒が共に学び、多様な価値観に触れることで視野を広げ、他者と協働、共生しながら、互いを高め合い、心身ともに豊かな人間への成長を促す。また、地元自治体の協力の下、地域の資源等を最大限に活用し、学校の特色や魅力づくりに取り組むことで教育活動の活性化を図り、地域の未来を切り拓く新しい価値を生み出すことができる人材の育成を目指す。

2 実施校及び募集人数（公表済）

実施校名	募集人数
（仮称）南三陸高校	普通科 8 人程度，情報ビジネス科 4 人程度
中新田高校	普通科 5 人程度

3 実施校の準備状況

	（仮称）南三陸高校	中新田高校
魅力化に向けた教育活動	<p>【教育課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通科地域創造系では、学校設定科目「地域学」、「地域探究学」を新設。地域について深く学び、地元の方々との交流を通して地域の良さを共有し、課題を深掘りして解決に導く提案をする取組を予定 「情報ビジネス科」では、日本の高校初となる「リナックスアカデミックパートナープログラム認定校」として、（株）イー・アール・シー協力のもとリナックスを学ぶ体制を整備 総合的な探究の時間では、地域の課題を解決するために、高校生自身が地域を学び、「まちづくり議会」で町長や役場の幹部と議論を交わし、南三陸をより良くするアイデアの提案等を実践中 <p>【国際交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災以降を機に交流を深めた台湾・嘉義県の竹崎高級中と姉妹校の協定を結び、異文化交流を行っている <p>【特色ある部活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域とつながりを持つ部活動や、ペヤングを共同開発した商業部のように、より実践的な学びができる部活動がある 	<p>【教育課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然・観光、火伏の虎舞、陶芸、打刃物等の伝統文化・工芸、音楽の町等、多様なコンテンツを持つ加美町を探究的な学びのフィールドとし、地域と連携した探究活動（企画提案型）を予定 「教養総合」類型では、学校設定科目「地域創造学」を新設し、町での体験活動や探究活動を計画 「地域スポーツ学」： 「カヌー」や「ロードバイク」の実技を含めた、地元主催のスポーツイベントの企画・運営に関わり、スポーツを通じた地域づくり 「地域防災学」： 学校に隣接する鳴瀬川を中心に、様々な災害に対する防災・減災の知識・技術を習得 「地域産業」： 地方創生を題材とした課題解決学習・加美町魅力化プロジェクトに取り組む <p>【国際交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究の時間において、ニュースレターを発行して、加美町に住む外国人に情報提供活動を行っている <p>【特色ある部活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国大会常連のカヌー部では、町の協力のもと、欧州からコーチを招聘する予定
広報	<ul style="list-style-type: none"> 地域みらい留学学校説明会等を活用した広報活動実施中 学校HP及び地域みらい留学HPに全国募集関連情報掲載中 全国募集リーフレットを配布 	
住まいの確保	<ul style="list-style-type: none"> 寮を設置 	<ul style="list-style-type: none"> 寮を設置
身元引受人	<ul style="list-style-type: none"> 町長が引き受ける 	<ul style="list-style-type: none"> 町長が引き受ける

4 実施スケジュール

※地域教育魅力化プラットフォーム「地域みらい留学」関連

	県教育委員会（高校教育課）	高校	町	
R4.4		○ ホームページを用いた広報 ※ ○ 広報動画配信 ※	高等 学 校 受 入 体 制 連 携 備 準 備	
5	○ 「求める生徒像・選抜方法一覧」公表 ○ 募集定員発表 ○ リーフレット作成 ○ 高校教育課HPに ○ 全国募集関連ページ掲載			
6	○ リーフレット等を用いた周知広報活動	○ 合同学校説明会（6/4・6/5：オンライン）※		
7	○ リーフレット等を用いた周知広報活動	○ 合同学校説明会（7/9・7/10：オンライン）※ オープンキャンパス ○（7/27：中新田，7/30：志津川） ※この期間以外は随時対応		
8	○ リーフレット等を用いた周知広報活動	○ 合同学校説明会（8/6・8/7：オンライン）※		
9	○ リーフレット等を用いた周知広報活動 ○ 合同学校説明会（東京）旅費支援※	○ 合同学校説明会（9/3・9/4：オンライン）※ ○ 合同学校説明会（9/24：東京）※		
10	○ 「選抜要項・願書」配布・HP掲載			
11				
12		○ 全国募集出願承認受付開始		○ 事前面接 （随時）
R5.1				
2		○ 出願開始		

↓
入学者選抜

↓
生徒受入開始

諮問・審議 関係資料

諮 問

諮問文	1
1 令和6年度宮城県立高等学校入学者選抜方針について（別紙1）	2
2 令和6年度宮城県立高等学校入学者選抜日程について（別紙2）	4

審 議

1 令和6年度宮城県立高等学校入学者選抜方針について	5
2 令和6年度宮城県立高等学校入学者選抜日程について	
(1) 平成25年度～令和5年度高等学校入学者選抜日程の推移	5
(2) 令和6年度入学者選抜日程のシミュレーション	6
3 専門委員について	7



高 第 3 7 6 号

令和 4 年 7 月 2 7 日

高等学校入学者選抜審議会委員長 殿

宮城県教育委員会
教育長 伊 東 昭 代



宮城県立高等学校入学者選抜について（諮問）

このことについて、高等学校入学者選抜審議会条例第 1 条の規定により、
下記事項について諮問します。

記

- 1 令和 6 年度宮城県立高等学校入学者選抜方針について（別紙 1）
- 2 令和 6 年度宮城県立高等学校入学者選抜日程について（別紙 2）

令和6年度宮城県立高等学校入学者選抜方針(案)

宮城県立高等学校における入学者選抜は、高等学校及び中学校における教育の目的の実現及び健全な教育の推進を期し、公正かつ適正な選抜方法と選抜尺度により厳正に行うものとする。

1 基本原則

- (1) 各宮城県立高等学校長(以下「高等学校長」という。)は、その教育を受けるに足る多様な能力と適性等を積極的に評価し、選抜するものとする。
- (2) 出願事務及び選抜事務の厳正を期するため、中学校にあつては調査書等作成のための委員会を、宮城県立高等学校(以下「高等学校」という。)にあつては選抜のための委員会を設置するものとする。

2 第一次募集

- (1) すべての高等学校は、学校・学科の特色に応じて、第一次募集を実施する。選抜に当たって、高等学校長は、原則として、調査書、学力検査の結果及び必要に応じて実施する面接、実技(体育及び美術に関する学科の場合)、作文の検査結果に基づいて共通選抜と特色選抜の2通りの方法により選抜するものとする。
- (2) 学力検査
 - イ 学力検査の実施教科は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。
 - ロ 学力検査の内容は、中学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的なものを重視するとともに、生徒の多様な能力・適性等が評価できる適切な質と分量の問題になるよう配慮するものとする。

3 追試験

すべての高等学校は、第一次募集検査日当日に、やむを得ない事由により受験できなかった者を対象に、追試験を実施する。

この場合、学力検査、面接、実技(体育及び美術に関する学科の場合)及び作文並びに選抜方法等については、第一次募集に準ずる。

4 第二次募集

合格者数が、募集定員に満たない場合においては、第二次募集を行うものとする。選抜に当たって、高等学校長は、調査書のみの審査、あるいは調査書に、第二次募集の学力検査、面接、実技(体育及び美術に関する学科の場合)及び作文のいずれか一つ又は複数の結果を合わせた審査を行うことができる。

5 連携型中高一貫教育に関する選抜

連携型中高一貫教育を実施する高等学校は、連携型中高一貫教育を実施する中学校の卒業生を対象とした選抜を実施する。選抜に当たって、当該高等学校長は、原則とし

て、調査書、その他必要な書類、学力検査（第一次募集に準ずる。）及び面接等の結果に基づいて総合的に審査するものとする。

6 社会人特別選抜

定時制課程の学科を有する高等学校においては、第一次募集において社会人を対象とした選抜を行うことができる。当該高等学校長は、学力検査について、弾力的に対応することができるものとする。

7 通信制課程に関する選抜

当該高等学校長は上記によらず、選抜を行うことができるものとする。

8 全国募集選抜

全国募集を行うモデル校として指定された高等学校は、該当する市町村と生徒受け入れに関して連携して、全国募集選抜への出願者を対象とした選抜を実施する。

この場合、募集人数は、募集定員の外数とし、選抜に当たって、当該高等学校長は、原則として、調査書、学力検査（第一次募集に準ずる。）及び面接等の結果に基づいて総合的に審査するものとする。

令和6年度宮城県立高等学校入学者選抜日程(案)

第一次募集

実施日 令和6年 3月 5日(火)

追試験日 令和6年 3月12日(火)

合格発表日 令和6年 3月15日(金)

審 議

1 令和6年度宮城県立高等学校入学者選抜方針について

令和6年度宮城県立高等学校入学者選抜方針（案）（2ページ（別紙1）参照）

2 令和6年度宮城県立高等学校入学者選抜日程について

（1）平成25年度～令和5年度宮城県立高等学校入学者選抜日程の推移

入試年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入試制度	前期選抜・後期選抜・第二次募集							第一次募集・第二次募集				
推薦入学・前期選抜出願者受付	1.11～16	1.14～17	1.13～16	1.12～15	1.10～13	1.9～12	1.8～11	/				
推薦入学出願者の面接等	/											
（私立高入試A日程）								1.28(月)	1.29(水)	1.28(水)	1.27(水)	1.25(水)
（私立高入試B日程）	1.30(水)	1.31(金)	1.30(金)	1.29(金)	1.27(金)	1.26(金)	2.6(水)	2.6(木)	2.4(木)	2.3(木)	2.2(木)	
前期選抜実施日	2.1(金)	2.4(火)	2.3(火)	2.3(水)	2.1(水)	1.31(水)	1.31(木)	/				
推薦入学結果通知 前期合格発表	2.12(火)	2.12(水)	2.10(火)	2.12(金)	2.9(木)	2.8(木)	2.8(金)					
第一次募集（後期選抜） 出願受付	2.20～25	2.20～25	2.19～24	2.23～26	2.21～24	2.19～22	2.18～21	2.17～20	2.15～18	2.15～18	2.14～17	
第一次募集（後期選抜） 学力検査	3.7(木)	3.6(木)	3.5(木)	3.9(水)	3.8(水)	3.6(火)	3.6(水)	3.4(水)	3.4(木)	3.4(金)	3.6(月)	
第一次募集（後期選抜） 追試験	/							3.10(火)	3.10(水)	3.10(木)	3.13(月)	
第一次募集（後期選抜） 合格者の発表								3.13(水)	3.12(水)	3.12(木)	3.16(水)	3.16(木)
第二次募集出願受付	3.14～18	3.13～17	3.13～17	3.17～18	3.17～21	3.15～19	3.15～18	3.17～19	3.17～19	3.17～22	3.17～22	※
第二次募集実施日 ・合格発表	3.21～22	3.19～20	3.19～20	3.23～24	3.22～23	3.20 又は22	3.19 又は20	3.23 又は24	3.22 又は23	3.23 又は24	3.23 又は24	※

※は予定

※ 令和6年カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

(2) 令和6年度入学者選抜日程のシミュレーション

令和5年度入試 (2023年)		令和6年度入試 (2024年)							
		案1		案2		案3		案4	
月	1月9日	火	1月9日	火	1月9日	火	1月9日	火	1月9日
火	10日	水	10日 出願希望調査	水	10日 出願希望調査	水	10日 出願希望調査	水	10日 出願希望調査
水	11日 出願希望調査	木	11日 出願希望調査	木	11日 出願希望調査	木	11日 出願希望調査	木	11日 出願希望調査
木	12日 出願希望調査	金	12日 出願希望調査	金	12日 出願希望調査	金	12日 出願希望調査	金	12日 出願希望調査
金	13日 出願希望調査	土	13日	土	13日	土	13日	土	13日
土	14日	日	14日	日	14日	日	14日	日	14日
日	15日	月	15日	月	15日	月	15日	月	15日
月	16日	火	16日	火	16日	火	16日	火	16日
火	17日	水	17日	水	17日	水	17日	水	17日
水	18日	木	18日	木	18日	木	18日	木	18日
木	19日	金	19日	金	19日	金	19日	金	19日
金	20日	土	20日	土	20日	土	20日	土	20日
土	21日	日	21日	日	21日	日	21日	日	21日
日	22日	月	22日	月	22日	月	22日	月	22日
月	23日	火	23日	火	23日	火	23日	火	23日
火	24日	水	24日	水	24日	水	24日	水	24日
水	25日	木	25日	木	25日	木	25日	木	25日
木	26日	金	26日	金	26日	金	26日	金	26日
金	27日	土	27日	土	27日	土	27日	土	27日
土	28日	日	28日	日	28日	日	28日	日	28日
日	29日	月	29日	月	29日	月	29日	月	29日
月	30日	火	30日	火	30日	火	30日	火	30日
火	31日 私立A日程	水	31日	水	31日	水	31日	水	31日
水	2月1日	木	2月1日	木	2月1日	木	2月1日	木	2月1日
木	2日 私立B日程	金	2日	金	2日	金	2日	金	2日
金	3日	土	3日	土	3日	土	3日	土	3日
土	4日	日	4日	日	4日	日	4日	日	4日
日	5日	月	5日	月	5日	月	5日	月	5日
月	6日	火	6日	火	6日	火	6日	火	6日 第一次募集出願
火	7日	水	7日	水	7日	水	7日	水	7日 第一次募集出願
水	8日	木	8日	木	8日	木	8日	木	8日 第一次募集出願
木	9日	金	9日	金	9日	金	9日	金	9日 第一次募集出願
金	10日	土	10日	土	10日	土	10日	土	10日
土	11日 建国記念の日	日	11日 建国記念の日	日	11日 建国記念の日	日	11日 建国記念の日	日	11日 建国記念の日
日	12日	月	12日 振替休日	月	12日 振替休日	月	12日 振替休日	月	12日 振替休日
月	13日	火	13日	火	13日 第一次募集出願	火	13日 第一次募集出願	火	13日
火	14日 第一次募集出願	水	14日 第一次募集出願	水	14日 第一次募集出願	水	14日 第一次募集出願	水	14日
水	15日 第一次募集出願	木	15日 第一次募集出願	木	15日 第一次募集出願	木	15日 第一次募集出願	木	15日
木	16日 第一次募集出願	金	16日 第一次募集出願	金	16日 第一次募集出願	金	16日 第一次募集出願	金	16日
金	17日 第一次募集出願	土	17日	土	17日	土	17日	土	17日
土	18日	日	18日	日	18日	日	18日	日	18日
日	19日	月	19日 第一次募集出願	月	19日	月	19日	月	19日
月	20日	火	20日	火	20日	火	20日	火	20日
火	21日	水	21日	水	21日	水	21日	水	21日
水	22日	木	22日	木	22日	木	22日	木	22日
木	23日 天皇誕生日	金	23日 天皇誕生日	金	23日 天皇誕生日	金	23日 天皇誕生日	金	23日 天皇誕生日
金	24日	土	24日	土	24日	土	24日	土	24日
土	25日	日	25日	日	25日	日	25日	日	25日
日	26日	月	26日	月	26日	月	26日	月	26日 第一次募集学力検査日
月	27日	火	27日	火	27日	火	27日	火	27日 第一次募集面接等
火	28日	水	28日	水	28日	水	28日	水	28日
水	29日	木	29日	木	29日	木	29日	木	29日
木	3月1日 卒業式	金	3月1日 卒業式	金	3月1日 卒業式	金	3月1日 卒業式	金	3月1日 卒業式
金	2日	土	2日	土	2日	土	2日	土	2日
土	3日	日	3日	日	3日	日	3日	日	3日
日	4日	月	4日	月	4日	月	4日 第一次募集学力検査日	月	4日
月	5日	火	5日	火	5日 第一次募集学力検査日	火	5日 第一次募集面接等	火	5日 第一次募集追試験
火	6日 第一次募集面接等	水	6日 第一次募集面接等	水	6日 第一次募集面接等	水	6日	水	6日
水	7日	木	7日	木	7日	木	7日	木	7日
木	8日	金	8日	金	8日	金	8日	金	8日
金	9日	土	9日	土	9日	土	9日	土	9日
土	10日	日	10日	日	10日	日	10日	日	10日
日	11日 鎮魂の日	月	11日 鎮魂の日	月	11日 鎮魂の日	月	11日 鎮魂の日	月	11日 鎮魂の日
月	12日 第一次募集追試験	火	12日 第一次募集追試験	火	12日 第一次募集追試験	火	12日 第一次募集追試験	火	12日 第一次募集合格発表
火	13日	水	13日	水	13日	水	13日	水	13日 第二次募集出願
水	14日	木	14日	木	14日	木	14日	木	14日 第二次募集出願
木	15日	金	15日 第一次募集合格発表	金	15日 第一次募集合格発表	金	15日 第一次募集合格発表	金	15日 第二次募集出願
金	16日 第二次募集出願	土	16日	土	16日	土	16日	土	16日
土	17日	日	17日	日	17日	日	17日	日	17日
日	18日	月	18日 第二次募集出願	月	18日 第二次募集出願	月	18日 第二次募集出願	月	18日 第二次募集実施合格発表
月	19日 第二次募集出願	火	19日 第二次募集出願	火	19日 第二次募集出願	火	19日 第二次募集出願	火	19日 第二次募集合格発表
火	20日 春分の日	水	20日 春分の日	水	20日 春分の日	水	20日 春分の日	水	20日 春分の日
水	21日 第二次募集出願	木	21日 第二次募集出願	木	21日 第二次募集出願	木	21日 第二次募集出願	木	21日
木	22日 第二次募集実施合格発表	金	22日 第二次募集実施合格発表	金	22日 第二次募集実施合格発表	金	22日 第二次募集実施合格発表	金	22日
金	23日 第二次募集合格発表	土	23日	土	23日	土	23日	土	23日
土	24日	日	24日	日	24日	日	24日	日	24日

3 専門委員について（案）

（1） 専門委員会の設置

令和2年度から始まった現在の入試制度についての実施状況を検証するために小委員会を設置する。

（2） 専門委員の任期

令和4年8月10日から令和5年6月30日まで

（3） 専門委員名簿

No.	氏名	現職	委員
1	熊谷 龍一	東北大学大学院教育学研究科准教授	入選審委員
2	浅野 直美	宮城県PTA連合会 副会長	入選審委員
3	高橋 千春	栗原市立築館中学校 校長	入選審委員
4	菅井 理恵	総合教育センター 所長	入選審委員
5		県立高等学校 校長	専門委員
6		私立高等学校 校長	専門委員
7		県立高等学校 教頭	専門委員
8		市町村立中学校 教頭	専門委員